

事業所名

サンクスゆめぼけっと（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

8年

4月

1日

法人（事業所）理念		住み慣れた地域で高齢になっても、障害があっても、これからずっと暮らし続けられるように常に感謝の気持ちをもってサンクスは永続的な支援を目指します。方針を持った丁寧な療育を心がけ「やったらできた！」という、子どもたちの成功体験を導き、保証していくことを大切に、明るく楽しい療育を目指します。					
支援方針		方針を持った丁寧な子育てとして、毎日が構造化された環境の中で①やり直す・繰り返すの支援②人の指示に従うこと③やり遂げる力④心を育てる全てにおいて段階的に援助していきます。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	◎生活に必要な基本的な生活習慣（排泄・食事・更衣等）の自立に向けての支援を目指し、また、生活リズムの形成をします。 ◎構造化された環境の中で様々な遊びを通して、安心安全に過ごせる空間づくりをしていきます。					
	運動・感覚	一人ひとりの感覚が異なる事を理解した上で、遊びの中で感覚にアプローチできる感覚統合をしていきます。（積み木・新聞ちぎり・バルーンバレー・ボール運び・シーツブランコ・ケンケン・手押し車・真似っこあそび・セラビーボール・スクーターボード・ボールプール・ひみつ袋・体に付けたシールや洗濯ばさみさがし・サーキット・楽器あそび 等）					
	認知・行動	こどもが理解できる環境作りやコミュニケーションに留意し、興味の幅が広がり、あそびを存分に楽しむことを基本に・色遊び・いろいろかくれんぼ・シャボン玉・ヨーヨー釣り・あわあわあそび・迷路・ぬりえ・てんつなぎ・運筆 等、年齢や特性に合わせた支援をしていきます。					
	言語 コミュニケーション	言葉の表出だけに目を向けず・身の回りの始末・日常生活の理解・運動面の発達・感情の交流と豊かな経験、そして自然な遊びや生活の中でことばを伸ばしていく遊び（真似っこ、こどもや大人の気持ちをことばにする、ことばの意味を広げる、好む遊びにことごとん付き合う 等）をします。					
	人間関係 社会性	大人が媒介してやりとりをしたり、楽しいと感じるあそびにことごとん付き合うこと、ルールを守り小集団でゲームしたり遊ぶことで、相手を意識し、信頼できる関係づくりと、人を好きな子に育てる支援をしていきます。					
家族支援		保護者の方が安心した気持ちで生活が送れ、将来の生活に見通しが持てるように保護者の方と面談したり、専門家（OT、PT、保健師）によるカウンセリングやご不安のケアをするともに、ペアレントトレーニングの実施や保護者とのグループワークを行います。			移行支援		移行先と連携して、切れ目のない支援が継続できる情報提供をしていきます。
地域支援・地域連携		ご家族、支援者間が連携を図り、子どもに対して共通の認識を持ち、統一した関わり、をしていきます。またご家族の養育面での不安や悩み等を少しでも軽減できるサポートをします。			職員の質の向上		ペアレントトレーニング・SST・虐待の早期発見と迅速な対応・危機管理、作業療法士会、訪問看護等の研修参加・Wisc検査分析研修 など。
主な行事等		歓迎会・散歩・公園・プールあそび・音楽療法・クッキング・クリスマス会・新年会・節分・ひな祭り会・送別会・老人との交流会・避難訓練					